

【授業科目】 地域看護活動論Ⅲ（地域の健康支援Ⅱ・危機管理） Community Health Nursing Activities Ⅲ

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大谷喜美江、後藤由紀、多次淳一郎、佐藤優子		3 年次前期	選 択	2	3 0	講 義	あり	巻末掲載	可
授業概要（内容と進め方）及び課題に対するフィードバック方法	授業概要／地域看護活動の中でも特に対象別（ライフステージや課題別）の健康課題とその解決・改善策・支援方法や保健師の役割とその展開事例を講義する。講義形式で教科書を使用し、適宜プリントを配布して行う。 課題に対するフィードバック方法／提出された課題（レポート等）について、全体の総評コメントを講義の中で行う。＊実務経験を持つ教員が授業を進める。								
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「国際的視野で看護を考え、ヘルスケアシステムにおける看護の専門性を理解し、保健・医療・福祉の専門職と連携し、地域社会に貢献できる」の達成に寄与している。								
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①対象別（ライフステージ・健康課題別）の保健の動向がわかり、課題が説明できる。 ②対象別（ライフステージ・健康課題別）の保健指導の内容および支援方法の実践がわかる。 ③対象別（ライフステージ・健康課題別）の保健活動における保健師の役割について述べることができる。								
時間外学習に必要な内容・時間	第1回～第15回事前学習：指定の教科書を事前に読んでおく。自分の居住市町村の保健活動について、広報やホームページ等で調べておく（各30分） 第1回～第15回事後学習：各回での学びを復習することで確認し、解らなかったことは調べまとめる（各30分） ※その他に、講義で学んだことを振り返るための課題を課すことがある（各60分） 図書館に下欄の参考書がそろっているので、学習の参考にすること。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。								
授業計画	第1回 母子保健活動①：地域で生活する母子の健康課題および母子保健システム 第2回 母子保健活動②：妊娠期および新生児期の支援の実践 第3回 母子保健活動③：乳幼児期への支援の実践（乳幼児健診を例に） 第4回 母子保健活動④：乳幼児訪問指導の計画立案・準備・評価 第5回 成人保健活動①：地域で生活する成人の健康課題 第6回 成人保健活動②：地域で生活する成人の健康課題への支援方法 第7回 高齢者保健活動①：地域で生活する高齢者の健康課題 第8回 高齢者保健活動②：地域で生活する高齢者の健康課題への支援方法 第9回 精神保健活動①：精神障害をもち地域で生活している人びとの健康課題 第10回精神保健活動②：精神障害をもち地域で生活している人びとへの支援方法 第11回難病および障がい者・児保健活動①：難病・障がいを持ち地域で生活している人々の健康課題 第12回難病および障がい者・児保健活動②：難病・障がいを持ち地域で生活している人々への支援 第13回感染症保健活動①：感染症、感染症患者の特徴と疾病管理の課題 第14回感染症保健活動②：感染症、感染症患者の健康課題への支援方法 第15回歯科保健活動：歯科保健の課題と支援方法／まとめ						大谷 大谷 大谷 大谷 後藤 後藤 多次 多次 多次 多次 佐藤 佐藤 大谷 大谷 大谷		
評価方法 評価基準	レポート(15%)、授業態度(15%)、試験(70%)で総合的に評価する。								
教科書	標準保健師講座3『対象別公衆衛生看護活動』医学書院 公衆衛生がみえる メディックメディア			参考書等	看護法令要覧 日本看護協会出版 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 保健師業務要覧 日本看護協会出版				
学生への助言等	図書館に参考書などがそろっていますので活用してください。 四日市市や居住自治体のHPなども参考にしてください。								